

# 第4次三重県食育推進計画（令和3～7年度）

# 概要

## 第1 三重県の食育の現状と今後の展開

### 1 これまでの取組と課題

これまでの取組において、小中学校における食育推進組織の設置など食育を推進する体制が進んだ一方で、小中学生の朝食の喫食や学校給食への地場産物導入、成人の健康に配慮した食生活の実践などは、当初の計画どおりに進展していません。適切な生活リズムの習得や若い世代も含めた生活習慣病の予防、農林水産物とその生産現場への理解増進等に向けて、さらなる取組の充実が必要となっています。

### 2 食育をめぐる現状

SDGsの達成に向けて、食育の推進が果たす役割に期待が寄せられている中、「食品ロスの削減の推進に関する法律」が令和元年に施行され、取組の充実が求められています。

また、県では、県民自らが主体的に取り組む健康づくりや企業の健康経営を促進しているところであり、市町や企業等関係機関と連携して食育の視点を通じた健康づくりの取組を進めているところです。

そのような中、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響による、地産地消への意識の高まりやデジタル化の進展など、食育を取り巻く環境変化への対応も必要となっています。

### 3 第4次三重県食育推進計画の策定の方向性

これまでの取組と課題と食育をめぐる現状、国の第4次食育推進基本計画(令和3～7年度)(案)の概要をふまえ、「みえの食育」に取り組むこととします。

### ＜3つの取組方針～生活・地域・環境～＞

取組方針については、

- 健全な食生活の実現に向けて、家庭、学校・幼稚園・保育所等、職場を含めた地域などにおける生涯を通じた切れ目のない取組が重要であること。

- 消費者に対する地域の農林水産業への理解促進や食文化の維持・継承を進めるには、「食」に関する消費者と生産者との信頼関係を深め、地域全体で取り組む必要があること。

- 環境と調和のとれた食料の生産や消費の推進がより一層重要となっていること。

をふまえて、第4次計画の取組方針を「生活」、「地域」および「環境」の3つの観点から整理しました。

### ＜具体的な施策＞

3つの取組方針に基づき、農林漁業者や食品関連事業者、ボランティア、教育関係者、市町等の関係者との連携・協働を図りながら、効果的な情報発信や研修などを行ううえで、デジタル(オンライン)技術を活用しつつ具体的な施策を展開します。

### ＜目標項目＞

「みえの食育」に取り組む方針の主指標として、さらに取組を充実させる第3次計画の項目を継続するとともに、新たに必要な項目を加えました。

また、具体的な施策の進展状況を適切に把握するための副指標を新たに設けました。

### ＜計画期間＞

令和3年度から令和7年度までの5年間

## 第2 「みえの食育」に取り組む方針および目標項目

### 1 豊かな生活を支える食育の推進

年齢や生活様式を問わず、全ての県民の皆さんが健康で充実した食生活を実現できるよう、施策を講じます。特に、乳幼児期からの基本的な生活習慣の形成に資する取組、高齢者の健康寿命の延伸、健康づくりや生活習慣病の予防、食生活を多様化をふまえた「日本型食生活」の推進につながる取組など、生涯を通じた切れ目のない食育の取組を推進する他、食事を楽しみ、つながりを大切にする共食機会の創出による食育推進に取り組めます。

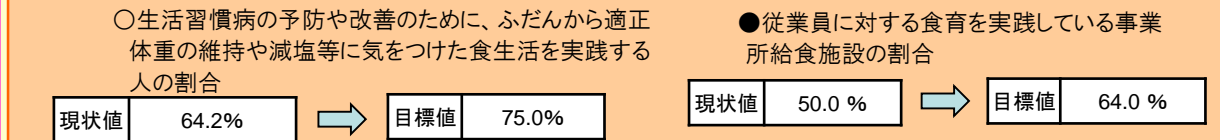
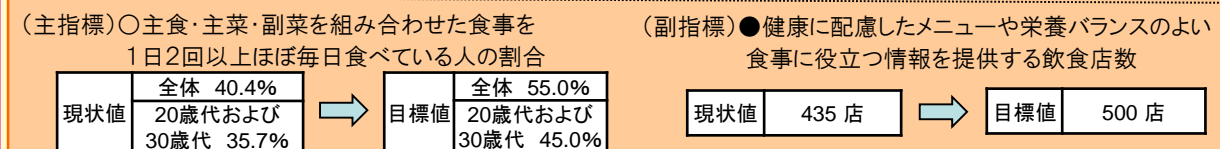
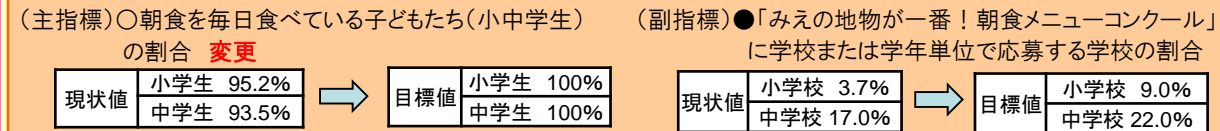
家庭においては、健全な食生活の実現に向けて食品の適切な選択や食の安全に配慮した取組への理解促進を行うとともに、災害を意識した食の備えの啓発に取り組めます。

また、学校、幼稚園および保育所等においては、栄養教諭や栄養士等を中核として、関係者が連携した食育の体系的・継続的な実施を推進します。

さらに、多様なつながりによる取組として、従業員等の健康に配慮した食育の推進を図る企業等や健康に配慮した食事や食品を提供する食品関連事業者の取組を支援します。



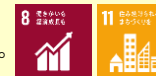
#### 指標項目



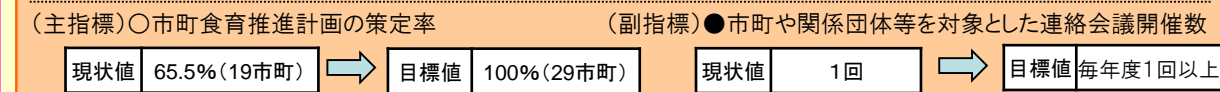
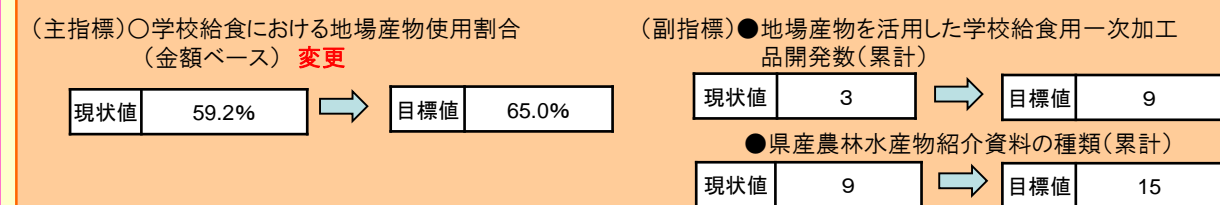
### 2 豊かな地域を支える食育の推進

地産地消運動や、農林漁業者等との交流、農林漁業体験の推進に係る施策等を講じることで、県民が県産農林水産物に触れ親しむ機会を増やし、県民に生産者をはじめ、「食」に関わる多くの関係者のつながりにより、食が支えられていることを知る機会を増やします。

また、各地域の気候・風土に応じて生産されるさまざまな農林水産物や、それらを用いた料理などを活用した食育活動を推進し、農林水産業や食文化が次の世代へ維持、継承されるよう支援を行います。



#### 指標項目



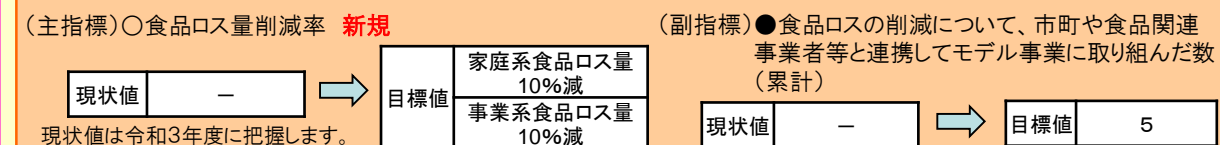
### 3 豊かな環境を支える食育の推進

環境に配慮した農業生産方式や水産物の資源管理、環境と調和のとれた持続可能な食料生産等の重要性を情報発信し、理解促進を図ります。

また、人や社会・環境に配慮した消費行動である「倫理的消費(エシカル消費)」の啓発を行うとともに、食品ロスの削減に向けて、食品関連事業者や教育関係者、市町等多様な関係者との連携、協働を図ります。



#### 指標項目



## 第3 具体的施策

### 1 豊かな生活を支える食育の推進

#### (1) 家庭での取組

- 生活リズムの向上
- 望ましい食習慣や知識の習得
- 妊産婦や乳幼児に関する栄養指導
- 青少年およびその保護者に対する食育推進
- 若い世代や多様な暮らしを営む県民への食育推進
- 健康寿命の延伸につながる食育推進
- 栄養バランスが優れた「日本型食生活」の実践
- 災害を意識した「食」の備えの啓発 **新規**

#### (2) 学校、幼稚園および保育所等での取組

- 学校における食に関する指導の充実
- 学校給食の教育的意義を高める取組
- 食育を通じた健康状態の改善等の推進
- 就学前の子どもに対する食育推進

#### (3) 多様なつながりによる取組

- 専門的知識を有する人材の養成・活用
- 食の安全・安心確保に関する取組
- 食品関連事業者等による食育推進
- 職場における従業員等の健康に配慮した食育推進 **新規**
- 多様なつながりによる共食の推進 **新規**

### 2 豊かな地域を支える食育の推進

#### (1) 農林水産業の理解を深める取組

- 地産地消の推進と食文化の維持・継承
- 農林漁業体験を通じた食育推進

#### (2) 市町食育推進計画の作成支援 **新規**

### 3 豊かな環境を支える食育の推進

#### (1) 環境に配慮した食料生産と消費に向けた取組

- 持続的な生産方法や資源管理等に関する普及啓発 **新規**
- エシカル消費の啓発 **新規**
- 食品ロス削減や食品リサイクルに関する取組

## 第4 推進体制

関係部局を構成員とする「三重県食育推進連絡会議」を開催し、計画の進捗管理を行うとともに、計画の実現に向けて、関係部局間の情報共有や連携等により課題解決を図ります。

また、市町や食育関係団体等が参加する「三重県地域食育推進連絡会議」を開催し、食育推進に向けた機運の醸成を図ります。

三重県食育推進連絡会議構成部局

農林水産部、医療保健部、教育委員会事務局、防災対策部、子ども・福祉部、環境生活部、雇用経済部